

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	百貨店（営業担当）	・紳士衣料品においては、これから最需要期に入るが、9、10月の商品動向から見て、11、12月は、キャンペーンを含めて月ごとの企画を実施すれば、かなりの実績が作れるのではないかと思う。12月は、歳暮商戦もあるため、多くの来客が期待できる。
		コンビニ（経営者）	・たばこがカートンで売れるようになってきており、売上もたばこ値上げ前に戻りつつある。また、年末年始を控えており、クリスマスケーキの予約の取組み方などを変えて挑戦をしていく。
		一般レストラン（経営者）	・年末に向かい、来客数、客単価共に上がってくることと各種会合が多くなるため良くなる。
		テーマパーク（職員）	・新規展示物に加え、冬季期間のイルミネーション営業における来客数の増加が見込まれる。
やや良くなる		スーパー（店長）	・昨年の年末年始は天候の理由もあり非常に悪かったが、それが逆に作用して今後は好転すると見ている。
		コンビニ（経営者）	・近くにできたホテルの宿泊客が少しずつ増えている上に、工事関係者も来店しているため、少しずつ上向きになっている。
		コンビニ（経営者）	・年末に向かって単価の高い商品の販売が上向く。
		コンビニ（経営者）	・たばこ値上げの影響はまだ続くと思うが、年末商戦が始まるので、年賀状印刷やクリスマス関連の商品などの売上増によって、多少は良くなると期待している。
		コンビニ（店長）	・月初めはたばこ増税の影響で、たばこを買い求める客が激減したが、現在、数量は5割強まで回復している。2～3か月後は8割ぐらいにまで回復するだろうが、禁煙者も大分増えたようなので、この人達の今後の動向により決まってくる。あまり楽観はできないが、いろいろなセールにより売上を伸ばそうとしている。
		観光型ホテル（営業担当）	・シーズンオフを控え、例年は集客に苦労する時期ではあるが、今年の宿泊予約は比較的好調である。忘年会、新年会の予約も悪くない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・2、3か月先は忘年会と新年会のシーズンに入るため、幾らか客の懐が緩んで、これから良くなる。
		その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・隣の商業施設ビルにテナントで入っている大手家電量販店の来客数がエコポイントの関係で増えているため、提携駐車場である当社の来客数も増えている。その分の売上の増加が今後期待されるため、やや良くなる。
変わらない		商店街（代表者）	・鉄道会社と合同で行うキャンペーンが始まり、客の出が良くなると期待していたが、効果が感じられない。
		商店街（代表者）	・年賀状プリントの最需要期となるが、旅行に出かける機会が少なかったようなので、あまり期待できない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・各地ではイベントで盛んにフリーマーケットが行われているが、皆考えて節約している状態であり、良くなる条件はない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・エコポイント需要は落ち着くが、地上デジタル関連テレビとエアコン需要は増えてくる。
		百貨店（総務担当）	・衣料品は天候不順で今一つ売れず、食料品はセールの目玉ばかりで、野菜も高くなっている。輸入品等では、円高差益で売れる商品があればいいのだが、当店には取扱がないので、良くなる環境ではない。
		百貨店（営業担当）	・客の買物の仕方が依然として慎重で、余計な物は買わず、気に入った物だけを買うという状況が続いているため、特に変化はない。
		百貨店（営業担当）	・店頭の動向にはやや動きが出ているように感じるが、収入の改善がなされない限り大幅な改善は考えにくい。
		百貨店（販売促進担当）	・歳暮商戦が始まるが、法人需要の伸び悩み、低価格志向は依然強く、消費者の購買に対する慎重さは継続する。
		スーパー（総務担当）	・不景気がまん延しており、大きく上がることは期待できない。衣料品、食品、生活関係の商品を扱っているが、全体的に横ばいで、前年を維持することもなかなか難しい状態が今後も続く。
		スーパー（統括）	・来店頻度が徐々に上がってきているため、来客数は伸びている。商品1点の単価も下げ止まり感はあるが、1人当たり買上点数が落ちているところに必要な物しか買わないという消費者の景況感の厳しさを感じる。

コンビニ（店長）	・たばこの買いだめをする客が戻ってくると考えるが、本当にたばこを止める人もいるので、完全に以前の状態に戻ることはなく、あまり変わらない。
衣料品専門店（店長）	・今年は寒くなるのが早く、冬物の立ち上がりも早いので、消化率も良くなり、前年比としては良い結果が出ると思うが、単品単価も低めに抑えて利益率も抑えないと、なかなか購買には結び付かない。
乗用車販売店（経営者）	・駆け込み需要の反動がまだ続く。
乗用車販売店（販売担当）	・賞与の話が全く出てこないの、働いている人が年末にかけて車を乗り換えようという意識が全く無いように感じる。そのため、さほど景気が上向きになるようなことはない。
乗用車販売店（営業担当）	・経済的に余裕があって自動車を代替えるユーザーが本当に少なくなってきたとあり、先の予想が立たない。
乗用車販売店（販売担当）	・これから新型車が続々発売されるが、この2か月間は同じような景気の状態であることもあり、客の財布のひもが固いことに変わりはない。
乗用車販売店（営業担当）	・補助金終了の影響が大きく、来客数が激減している。車の購入を前倒した人が多く、車検が到来するユーザーからの代替えも見込めなくなっている。
住関連専門店（仕入担当）	・消耗品を中心とした単価の下落傾向は持続しており、年末もその傾向を引きずるため売上高の確保は非常に厳しい状況である。ただし、円高によるメリットが少しは出る。
一般レストラン（経営者）	・この半年以上の間、ほとんど変わらず、良くなる兆候が全く見受けられない。同業者からも良くなる兆しが無いと聞いている。
都市型ホテル（経営者）	・今の街の状態を見ても、良くなる兆しが無く低水準で推移していく。
旅行代理店（副支店長）	・異常な円高にもかかわらず海外需要はそれにリンクしないが、羽田新国際ターミナルがいちの望みである。
通信会社（販売担当）	・携帯電話業界では冬モデルが販売開始になるが、全体的な景気動向が変わっていないため節約志向は変化しない。また、ボーナス商戦でも、ボーナスが支給されない企業が多くあるため厳しい状況は続く。
通信会社（局長）	・円高により多くの大手企業の業績は混迷しており、改善を期待できる明るい材料が存在しない。
通信会社（総務担当）	・受注、販売量が依然として低迷しており、顧客の声としても費用を抑えたいという傾向が強い。新規の顧客より顧客の減少が上回っている状態が続いている。
遊園地（職員）	・一般家庭の所得減少によるレジャー支出抑制の影響は依然大きいものと予想され、今後についても楽観視はできない。
ゴルフ練習場（経営者）	・天気や気候に左右されているだけで、全体的にまだ景気が上向きとは言えない。
ゴルフ場（支配人）	・10月期と同様に、11月期の予約は順調に推移している。しかし、コンペ等の割引合戦が続き、客単価は相変わらず低迷している。
競輪場（職員）	・相変わらず、全国販売している記念競輪等の売上が低迷している。
その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・現状はあまり良くないが、それ以上下がるとは思えないし、かといって良くなる希望も見えてこないの、今の状態がしばらく続く。
美容室（経営者）	・11月はプライダルシーズンであるが、婚礼着付けの予約が前年より少ない。
その他サービス[清掃] (所長)	・政治不安、円高等不安材料ばかりが報道されており、冬のボーナスが支給されるまではこのままの状態が続く。
設計事務所（経営者）	・年末に向けて何かと慌ただしいのは毎年のことだが、例年と比べると仕事量は少なく、新しい仕事で忙しくなるとは思えない。
設計事務所（所長）	・年内残り2か月で何とか予算を達成できるよう受注促進に力を入れ取り組みたい。
設計事務所（所長）	・普通は、そろそろ来年の計画の話があるが、今年は非常に少ないので、今年度一杯は現状と変らない。
設計事務所（所長）	・変わらないというのは、これ以上悪くなるとは生きていけない状況になる不安感を解消するための思いであって、実際には悪くなるのかもしれない。
住宅販売会社（従業員）	・現場見学会や展示場への来場者数の状況を見ると、まだまだ本格的な需要回復の動きは見られない。
やや悪くなる 商店街（代表者）	・テレビ等の宣伝は過当競争が激しくなり、小売店はますます厳しくなっていく。

	一般小売店〔家電〕 (経営者)	・年末に向け明るい話が聞こえてこない。建築業者は特に年内は良いが、来年の仕事がないと聞く。家電業界も地デジ絡みのエコポイントで何とかつないでいるが、消費者が構えていてなかなか商品の大きな動きが見えてこない。
	一般小売店〔乳業〕 (経営者)	・改善される要因が皆無である。
	百貨店(販売促進担当)	・円高基調が長引くと景気にも大きな影響を及ぼすことが懸念される。また、近隣諸外国との関係や保険料、税金等が連日報道される等、将来の不安材料が先行している。好材料が見当たらないため、今後はやや悪くなっていく。
	スーパー(経営者)	・先行き不透明感や企業のリストラ報道により、更に悪化する感がある。
	スーパー(総務担当)	・地域周辺は車産業を含めた工場地帯のため、円高状況が続くと時短等から従業員の残業、ボーナス、収入が減り、小売業にも悪い影響が更に出る。
	スーパー(経営企画担当)	・引続き、競合店の影響を受ける。
	家電量販店(店長)	・12～1月はエコポイントの申請条件がかなり絞られたものとなるため、急激に販売にブレーキがかかってくる。1月以降はかなり厳しくなる。
	家電量販店(営業担当)	・今のところ、エコポイントの恩恵後の対策が今はないので悪くなる。
	乗用車販売店(従業員)	・先行きの見通しが一段と厳しくなる状況は変わらない。
	高級レストラン(店長)	・下請企業の多い当県では、景気が足踏み状態の中、急激な円高による輸出企業の業績悪化の影響が深刻になる。
	一般レストラン(経営者)	・ここに来て、更に客の動きが悪く、同業者間の話でも景気の良くなる話が全く出てこない。
	旅行代理店(副支店長)	・猛暑の影響により生産者の旅行受注が悪い。海外旅行についても中国との尖閣問題のため、この先中国への旅行者数やビジネス渡航は減る。円高による輸出業者等の動きも悪く、先行き不安要素が多い。
	タクシー(経営者)	・タクシーに乗るような人が乗らずに節約している現状なので、この先も良くない。
	ゴルフ場(従業員)	・来場予約が昨年より減少している。
	ゴルフ場(業務担当)	・入場者数は前年比90～95%となっているが、売上単価は80～85%に収まるのではないかと見ている。天気が安定してきたので、入場者は確保できているが、なかなか価格競争が厳しく、値引き合戦の現状である。土日の3か月後の囲い込みは前年とほぼ同じであるが、平日が鈍く、客が価格に敏感なので、入場者価格が確保できても売上が伴わず、収益の改善は見込めない。
	美容室(経営者)	・老舗といわれている店が9月いっぱい3店舗閉店しており、客の会話でも、あの店もこの店もつぶれていることを耳にするわね、という声が聞かれるのであまり良くない。
	住宅販売会社(従業員)	・景気回復への期待感に乏しく、高額消費財の需要低迷は長引くと予想されるため、あまり良くない。
	住宅販売会社(経営者)	・景気が上向きになる要素が見付からない。
悪くなる	商店街(代表者)	・冬物は特に問屋との取引関係が厳しく、委託は全くないため、どうしても在庫数が少ないのだが、客はやはり在庫の多いところから選びたいという心理があるので、商売は難しい。そうかと言って大量に取ってしまうと、後で返品のために、何のために商売をやっているんだという状況になる。
	衣料品専門店(販売担当)	・夏から冬に極端に季節が変わってきているが、極端な暑さや寒さが続くと買い控えを招き、購買意欲にさらにダメージを与えてしまうため、来客数と購買意欲の低下は相当なもので、本当に悪い状況である。
	乗用車販売店(管理担当)	・自動車業界はエコカー補助金効果で9月までは駆け込み需要により伸びたが、補助金終了後は販売が激減している。製造業は、円高により大幅な損失となり、生産工場を海外に移転する傾向にあり、国内空洞化と失業者増加が見込まれる。
	スナック(経営者)	・マスコミ等でも景気が悪いというので消費者がなおさら縮んでいる気がする。年末にしたがって良くなる期待をしているが、良くなるような気配が無い。
	都市型ホテル(スタッフ)	・10、12月の新規ホテル開業に伴い、安価なところに客が動いてしまうため、宿泊関係の来客数が減る可能性が十分に考えられる。特に、オープンに伴う特別料金の方に客が向いてしまい、ソフト面は考慮されないような感じを受けている。

企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	化学工業（経営者）	・スポットの注文がいくつか急に入ってきたので、1月まではなんとこのまましのげそうである。
	変わらない	食料品製造業（製造担当）	・景気感が非常に悪く、消費者の財布のひもがますます固くなり、同じものなら安い方へと向かっている。また、スーパーは客を呼び込むためにさらに安さを求めるという図式からなかなか抜け出せず、良くはならない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・店頭商品にやや動きが見えて来た感がある。リゾートホテルの体験ブースとタイアップすることが出来たので動向に期待したい。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・前年の時期と比べ、売上等、一段と厳しくなっている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・建設機械分野の仕事は好調であるが、自動車関連等は一服感がある。自動車の新規開発案件の動きも活発な動きが出てこない。全体としては変わらない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・あまり良くない状況であり、2、3か月はこの状況で推移していく。
		その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・今までの納入先のメンテナンス事業が増えている。また5年間のメンテナンス付き装置賃貸が増加したため、1年単位の景気にはさほど影響がないが、賃貸契約の新規納入である点が今年度と少し違う。
		輸送業（営業担当）	・年末に向けて、家電エコポイントの見直し等により、関連する商材の物量や配送量は増えてきている。暖房器具等には例年並みかそれ以上を期待しているが、デフレ経済の中、コスト、運賃の見直し等が進んでおり、利益が薄くなっている状態である。今後は原油の高騰も予想されているため、物流に対する利益の確保はなかなか厳しいものがある。
		広告代理店（営業担当）	・年末年始の見積段階での広告出稿予定は、昨年並みの低い水準である。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・下旬から急激に寒くなり、衣料問屋やホームセンターでは冬物の荷動きが始まると期待を込めていたが、今年の夏同様に、安価で手軽な物が好まれるのかと心配もしている。
		社会保険労務士	・大きなプロジェクトや売上が大きく上がる話が無いなか、円高で大変だとの話題はよく出てくるが、年内は今の状態が続くと見ている事業所が多い。
		経営コンサルタント	・雇用と設備投資を誘発する政策が欠けている中では、地場の企業や地域経済が好転に向かう材料が特段見当たらない。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・今後も情報化投資の抑制傾向は変わらない。	
	やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらず価格競争が続いている。
		金属製品製造業（経営者）	・今年の決算は、上期が悪い分、下期の4～9月でばん回して、リーマンショック前まで戻したが、ここに来て10月以降は、見通しが全く付きづらくなってきた状況である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・増産するとか新規のものが立ち上がるといった話はなく、徐々に受注量が落ちてきているのが現状である。取引先に聞いても2、3割落ちるだろうと予想しているので、当社もそのような受注状況になると思われる。急激に悪化することはないが、じわじわと下落してくる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・世の中の景気動向に明るさが見えない限り、厳しい状況が続く。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・景気低迷で民間の設備投資が行われず、物件が少ないため、先行きの見通しが立たず、受注内容も一層厳しくなりそうである。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・この先3か月の見通しは伸び率が低下し、前年比2、3%の伸び率にとどまっている。その一方で、コストダウンについて引き続き強い要請も受けている。減収減益の下降局面に入っており、非常に先の見通しがしづらい状況である。
金融業（役員）		・円高の影響が徐々に現れており、中小零細企業の資金繰りの悪化が懸念されている。	
金融業（調査担当）		・アジア向け輸出の鈍化に加え、円高継続やレアアースについて先行きの在庫不足に対する懸念が強まることが予想される。	
金融業（総務担当）		・家電エコポイントの条件が厳しくなる12月以降、売上減少が確実にと取引先の担当者が話している。	

		不動産業（営業担当）	・宿泊に関しては、数か月の間に状況ががらっと変わって良くなることはあまりなく、長期的に会社の景気が徐々に良くなった後、最後に宿泊関係の経費も出てきて良くなるという状況である。
	悪くなる	電気機械器具製造業（経営者） その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・生産予定が入らず、再び厳しくなってきた。また苦闘が始まる。 ・9月に引き続き10月も悪いため、仕入意欲は更に減退している。通常12月のセール用商品の需要があるが、今年は全く話が出ない。このままでは冬のセールへの期待も持てない。
		建設業（総務担当）	・9月決算で何とか黒字決算が達成できそうなので一安心であるが、受注できるのは長期間の土木工事になるため、資金繰りが大変になる。
		通信業（経営者）	・円高の影響がありそうである。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・衣料品関係では、子ども、紳士、婦人物が伸びていくと見込まれる。また、年末に向けてのギフト商品等の箱関係、冷凍食品等のこん包、配送作業、自動車関連について年内に稼働が持ち直し、幾分期待できる。
	変わらない	職業安定所（職員）	・新規求人数は増加傾向にあるものの、円高による業務への影響を心配する声が聞かれ、企業側の求人申込の意欲は厳しい。
		職業安定所（職員）	・円高による先行き不安等により企業の従業員採用意欲は依然鈍く、求職者のニーズに見合った求人の確保ができない状態がまだ続く。
		民間職業紹介機関（経営者）	・求人をけん引する製造業において、受注が増えて忙しさが増している企業が若干増え始めたが、コストダウン要求が激しく、新規採用まで至らない。大手企業は採用に相変わらず慎重で、新卒採用にも大きく影響している。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・会社に合う人材がいれば採用するが、無理して採用することは無いといったように、景気の状態を見ていると感じる。またここ数年、この時期から求人が出てくる企業があったが、例年より少ない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（管理担当）	・正社員の採用が減り、派遣社員の採用が増えていたが、円高の影響で派遣社員すら雇用しない状態になりそうである。
		職業安定所（職員）	・現在、円高等の影響は直接出ていないが、11～12月に向け受注減少の声や、商品単価の為替影響による販売縮小の声が聞こえ始めた。雇用調整助成金について、活用人数、活用日数は減少傾向にあるものの、活用の相談が出てきている。
		職業安定所（職員）	・先月、先々月あたりの求人数に比べると若干下降気味である。先月から派遣の求人が激減しており、特に製造関係のまとまった派遣求人がほとんど無い。増える要素は無いという話や、5か月先あるいは1年先にある程度の人員を減らしたいという相談も複数の事業所から聞いている。
		職業安定所（職員）	・エコカー補助金終了、また円高等による部材、材料費の輸入品の高騰により、製造業を中心に景気が下降するので悪くなる。
	悪くなる	-	-